

第433回 1月臨時会

【会 期】 1月17日(1日間)

【議決内容】 市提出議案1件を可決しました。

ポイント!

1月臨時会は、コロナ対策が主眼

令和3年度 鯖江市一般会計補正予算 第12号(議案第1号)

本1月臨時会では、主に新型コロナウイルス感染症対策事業の審査が行われました。コロナ対策としては、国の生活困窮者・住民税非課税世帯等への支援策、および保育士や放課後児童クラブで働く児童支援員等の賃金改善補助。

さらに、市単独で実施する、市内店舗での買い物を喚起するためのキャンペーン2種。

その他、スポーツ施設の改修工事・解体工事が提案されました。



※ 臨時会とは…

市議会の会議の種類には、定期的に招集される「定例会」と、必要がある場合に招集される「臨時会」があります。

鯖江市の定例会は、3、6、9、12月の4回で、追加で審査が必要となったために、今回の臨時会開催となりました。



総務委員会

臨時会の議案内容として…

説明 今回の補正予算は、国の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等の実施や保育士等の処遇改善に伴う補正、新型コロナウイルス対策として行う市内消費喚起事業、および安全安心の観点に基づく「西山球場ナイター照明塔の解体工事」等の費用計上に伴う補正が主なものとなっている。

意見 今回の議会は臨時で開会し、主として新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算を審議するものであるが、国が打ち出した施策に対する補正予算が中心であり、市民生活に関する市独自の施策が寂しいものと感じられる。今後は、3月定例会に向け、令和3年度補正予算および令和4年度当初予算の編成に当たっては、市民全体の思いを十分に把握した上で、各課の施策をしっかりとコントロールしていただきたい。

産業建設委員会

市内の消費喚起の取組は？

説明 市内での消費喚起策として、県内の店舗で使える電子クーポン「ふく割」を活用し、鯖江市内でのみ利用できる「さば割」クーポンを発行するデジタルキャンペーンと、2,000円以上の買い物で、総額600万円以上の景品が当たる抽選会に応募できるアナログキャンペーン「さばえのお店応援事業」を実施する。



市内でのみ使用できる「さば割」

意見 「さば割」の発行は、4週に分けて実施し、それぞれの週の使用予定枚数は、過去の実績から30%を見込んでいたことだが、想定以上に使用されることも考えられるので、1週当たり40%使用で積算していただきたい。

意見 アナログキャンペーンに参加する店舗は、市内のおよそ300店舗を想定しており、総額600万円の景品は、それらの参加店舗から購入することだが、参加店舗の一部に偏ることなく、満遍なく購入するよう留意していただきたい。